

会 議 録

1 会議名

平成29年度第11回中郷区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

（1）協議（公開）

地域活動支援事業の採択基準等について

自主審議事項について

（2）その他（公開）

3 開催日時

平成30年2月22日（木）午後6時30分から午後8時00分まで

4 開催場所

中郷区総合事務所 第4会議室

5 傍聴人の数

2人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・ 委 員：荒川清尊、岡田雅範、岡田龍一、高橋京子、高橋達也、竹内昭彦、
竹内靖彦、古川由美子、水嶋敏昭、陸川昇一
- ・ 健康福祉部：健康づくり推進課 北島賢行課長、米川美樹副課長
- ・ 事 務 局：中郷区総合事務所 木村雄二所長、小嶋淳一次長、城戸俊夫市民生活
・ 福祉グループ、教育・文化グループ長
市民生活・福祉グループ 市村久美子班長
総務・地域振興グループ 丸山良彦班長、渡辺智則主任

〔 以下、総務・地域振興グループは総務G、市民生活・福祉グループは
市民G、教育・文化グループは教育G、グループ長はG長と表記 〕

8 発言の内容（要旨）

【丸山班長】

- ・ 会議の開会を宣言

【高橋会長】

- ・挨拶

【丸山班長】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。

【高橋会長】

- ・会議録確認：「岡田龍一」委員と「陸川昇一」委員に依頼。

【高橋会長】

本日は、平成30年度からの経塚斎場の使用料金について説明があるとのことで、木田庁舎より健康づくり推進課の北島課長と米川副課長が来られている。このため、次第の順番を急ぎよ入れ替え、「その他」を最初に行うこととする。それでは、平成30年度からの経塚斎場の使用料金について、健康づくり推進課の説明を求める。

【北島健康づくり推進課長】

- ・当日配布された資料により説明

【高橋会長】

今ほどの説明について質問・意見等を求める。

【岡田(龍)委員】

資料には、4月からの窓口支払額が種別ごとにそれぞれ記載されているが、これに伴う手続きは何かあるのか。

【米川健康づくり推進課副課長】

死亡届の手続きに区内の住民が総合事務所に行かれた際、火葬許可申請書を書いてもらっているが、昨年の4月からは併せて補助金の申請書も書いてもらっている。手続き的には今回も同様であり、今までと変わらないことになる。

【高橋会長】

皆さん、他に何か質問、意見等はあるか。

ー全委員なしー

【高橋会長】

特になければ、「その他」の平成30年度からの経塚斎場の利用料金の件については、これで閉じることとする。

ー健康づくり推進課 北島課長、米川副課長退席ー

【高橋会長】

続いて、協議事項(1)の「地域活動支援事業の採択基準等について」協議する。資料は前回配布された資料No.2-4と2-5をご覧いただきたい。このうち、資料No.2-4の採点及び採択基準については、当区では配点の審査項目の中でも「発展性」を重視しており、この項目の配点基準を10点にしている。また、去年は基本審査に対する取扱いを新たに基準に設けたところである。このようなことを踏まえ、今回も何らかの見直しの必要性はないか、資料No.2-5の採点票も含め本日皆さんから協議いただき、内容を決定したいと考えている。各委員の発言を求める。

【岡田(龍)委員】

採点票についてお聞きしたい。採点内容の(2)地域自治区の採択方針で、「1優先して採択する事業」とあるが、2に該当する事業がないことから1の番号は不要ではないか。

【丸山班長】

確かに不要である。番号は削除することにした。

【高橋会長】

採点内容の基本審査については、本来受付時において、ある程度フィルターをかけ、事業として妥当なものかどうか判断してもらうことが望ましいと思われる。もし、提案のあった事業全てを受理してしまうと、当然のことながら全ての事業について委員が審査をしなければならなくなる。皆さんは、この件についてどう思われるか。

【竹内(靖)委員】

実際に応募があったものの中には、初めて提案する団体もいる。その内容が適合するかしないかは別として、このような団体はできるだけ地域協議会の審査に挙げた方が、地域の声として聞くことができるのではないかと感じている。

【高橋会長】

それでは、そのような提案書を事務局で受け付けた段階で、提案した団体に対しどのような点がイエローマークになるのか話していただくとともに、協議会の中でもその旨説明してもらおうようにしたいと思うが如何か。

—全委員賛同—

全委員より賛同いただいたので、今後はそのように扱うこととする。

【高橋会長】

皆さん、他に何か質問、意見等はあるか。

ー全委員なしー

【高橋会長】

特になければ、協議事項(1)の「地域活動支援事業の採択基準等について」は、これで閉じることとする。

【高橋会長】

続いて、協議事項(2)の「自主審議事項について」協議する。新たに自主審議事項となった「二本木駅を核とした地域活性化」について、先月に引き続き、これから分科会に分かれて審議をお願いしたい。概ね30分程度審議を行った後、座長より結果報告、その後全体での意見交換という流れで進めていきたいと考えている。

ー分科会に分かれて協議ー

ー再開ー

【高橋会長】

それでは、本日話し合った内容について分科会ごとに報告願いたい。始めに、テーマ1「二本木駅周囲の環境面整備」についての報告を求める。

【岡田(龍)委員】

前回、話の中で出たものをまとめ、本日の資料とし、これを基に文言等の整理を皆で行った。初めに、項目として挙げた「基金を活用してのトイレの改修工事」については、トイレの改修を全面的に押し出すのではなく、環境面の整備の中のトイレ改修という位置づけにし、項目を削除することとした。その中で、基金の使途として定められている教育・福祉・環境という分野を鑑み、資料に記載の3つのボッチについて、それぞれ分類分けし肉付けすることにした。一つ目のボッチは「目的」とし、文中にある「施設の環境面整備」の中に生活環境についての文言を付け加えようと思っている。そのような面で環境をPRし、優先課題として進めていきたい。次に、二つ目のボッチについては「理由」とし、高齢者や障がいのある方などが安心して利用できるために、バリアフリーなトイレが必要だという文言を付け加えるなど福祉的な要素を取り入れていきたいと考えている。最後の三つ目のボッチについては、「今後の発展性」とすることにした。なお、体験型として、小学校や中学校の生徒がトイレの清掃等を行うことで興味を持ってもらうことも一つの手であり、このようにすれば教育

という分野も絡めることができるのではないかと感じている。当テーマとしては、今ほど申し上げた点についてそれぞれ文言の整理をしたうえで、3月3日に開催される活動報告会において参加者に対し状況を報告したい。なお、審議の残り時間の中で、テーマに拘らず全体的にどのようなことができるか議論があった。その中で話題となったのが、トイレは勿論だが他にも駅を活用していくうえで何が必要かということであった。意見として、「継続的に実施していくことが何よりも大切であり、今後事業所を絡めた展開も必要になってくることになるのではないか。」という声が聞かれた。当テーマから逸れることから深くは触れていないが、いろんな事業を実施していく中で、継続していくには、ボランティアでは限界があるのではないかと感じている。

【高橋会長】

次に、テーマ2「今後の問題点や実施すべき事項並びにPR活動を含む企画全般」についての報告を求める。

【竹内(靖)委員】

テーマ1と同じく、前回、話の中で出たものをまとめ、本日の資料とし、これを基に文言等の整理を皆で行った。経緯と企画のねらいについては、資料に記載のとおりである。実際、誰に何をどのように届けるのかということでも話し合いを進めていった。先ず、「誰に」ということについては、中郷区在住のすべての人は勿論のこと、市内在住の人や、更には二本木駅を利用する人など様々な人に届けていきたい。次に、「何を」ということについては、二本木駅のスイッチバックなどの情報を広く届けることにしたい。この中で、本日出た意見として、展望台の設置の他、電車がスイッチバックで入ってくる瞬間をイベント的に情報発信したらどうかというものがあった。また、中郷区の情報としては、観光や物産・地理歴史をはじめ、当地の美味しいものや雪などの地域資源の情報を盛り込んでいければと思っている。次に「どのように」ということについては、ホームページやSNSによって、広く情報発信できるのではないかと考えている。併せて、観桜会やウォーキングなどを盛り込んだ、春夏秋冬にちなんだイベント開催の実施で集客を図っていきたい。更に、駅の和室や喫茶を利用した活動により、地元をはじめいろんな人に対し周知することも考えている。次に、「区内の主な団体として出来ること」についてだが、「ねらい」にも記載されているとおり、役割を明確にしたうえで、それぞれができる役割を踏まえていく必要があり、今後の活動に大きく影響していくものであると感じている。主な団体として、先ず、我々地域協議

会では、企画立案や実働団体への助言、またテーマ1で取り組んでいる「トイレを含む周辺整備への準備や改修工事」での特定財源活用を視野に、地域協議会の中でしっかりと議論していくことが必要である。また、当分科会からは、イベント開催時にもっとスペースを広くとれたらよいのではないかという意見も聞かれた。改修を絡めた中で、考慮いただければと思っている。次に、まちづくり振興会としては、運用スタッフの雇用を考えている。例えば、喫茶や出前サロンのスタッフについては、事務局職員として振興会の資金の中から給与が支払うことができるのではないかという見解を持っている。また、イベントの企画・運営については、地域活動支援事業を活用しながら進めていくことになり、改修工事が上手くいけば和室を利用した地域支え合い事業や出前サロンの実施が可能になると考えている。次に、中郷観光協会としては、ホームページの作成・管理が挙げられるが、これも地域活動支援事業を活用し進めていくことになる。また、観光案内PR活動ということで地元の地域の写真や、二本木駅に絡めた歴史資料の展示ができればよいと思っている。なお、委員からはこのような発言もあった。赤倉温泉では最近よく外国人を見かけるとのことであり、二本木駅も国際的なPRができればということであった。次に、中郷商工会としては、地域ならではの地域特産品の開発・販売に踏み込んでいただければと思っている。中郷区を訪れたからこそ、食べられるというものを開発できれば大変よい宣伝効果が生まれるのではないかと期待している。また、市を定期的で開催しているが、もう少し拡大して更に充実していければと思っている。高齢者の方々が自分達の作った野菜を販売できるような方向性が持てたらよい。駅まで野菜を運んであげられるようなスタイルを確立できれば、野菜を作る高齢者の張合いにも繋がることになるのではないだろうか。最後に、えちごトキめき鉄道では、構内の和室、喫茶を含む駅の改修工事を予定しているとのことである。このような幾つかの点と点を結びつけて一つの線になるような活動をしていきたいと考えている。3月3日に開催される活動報告会では、今ほど申し上げたことを再度整理し、参加者へ状況を報告したい。

【高橋会長】

今ほど、各座長より本日話し合った内容について報告いただいた。引き続き、全体での意見交換を行いたい。各委員の発言を求める。

【竹内(靖)委員】

活動報告会では、トイレの改修整備に係るスケジュール的なことを聞かれる可能性があると思われる。完成時期など具体的なプランは提示できるのか。

【高橋会長】

実際に、事業としての段階になると、行政側が中心となって進められることになる。スケジュール的なことについて、現時点での考えをお聞かせ願いたい。

【木村所長】

今、私の頭の中でイメージしているのは、来る活動報告会において住民の皆さんと意見交換をし、基金を使ってトイレを整備する方向で概ねよいのではないかという話をいただければ、この時点で行政側のスイッチが正式に入ることになるのではないかと感じている。これを踏まえ、通常考えられるスケジュールとしては、平成31年度に設計をし、平成32年度に工事を行うというものになる。このように市が行う建物の建設については、2か年を必要期間としてみておく必要がある。

【竹内(靖)委員】

設計に入る前のプランニングが最も大事になってくる。外観を含め、このようなトイレを望んでいると言っても、プランが固まらないと当然のことながら設計には踏み込めない。このため、平成30年度はこれに関する審議で結構時間がかかる気がしている。プランの段階でトイレの姿がほぼ決まってくることになる。

【高橋会長】

実際に進められることになった場合は、ある程度のスケジュールは示してもらう必要はあると思っている。

【岡田(龍)委員】

今の話で、もし活動報告会でそのような質問がでた場合、対応は地域協議会がするのか、それとも行政側で行うのか。

【木村所長】

勿論、我々も同席していることから、そのような質問がでた場合は、こちらで説明させていただくことになる。いずれにしても、このことについては、現在、地域協議会で審議をしている段階である。今後、審議が進み、これを意見書などの形で行政側に伝えることになって、はじめてスタートになるのではないかと考えている。今の段階でスケジュール云々というのは、なかなか厳しいところはある。

【高橋会長】

今年度の協議会は3月で締めくくることがになるが、新年度早々の4月下旬には毎年町内会長連絡会議が開催されている。この会議に私も出席させていただき、報告会の雰囲気も含め町内会長へその旨報告し、方向性等について概ね了承いただければと考えている。それでは、3月3日に開催される活動報告会では、各座長よりそれぞれの状況報告についてよろしくお願ひしたい。

【高橋会長】

皆さん、他に意見等はあるか。

－全委員なし－

【高橋会長】

特にないようなので、協議事項（2）の「自主審議事項について」は、これで閉じることとする。

本日、予定していた案件は以上となるが、委員の皆さんから他に何かあるか。

【陸川委員】

県道で穴が目立つ箇所が幾つか見受けられる。雪が積もっている状態では直すのは難しいだろうが、後日、状況を確認していただき、直すべき所はきちんと直すようお願いしたい。

【木村所長】

状況を確認のうえ、適切に対応させていただく。

【高橋会長】

他に発言がないため、これをもって本日の会議を終了する。

次回の会議は3月23日(金) 午後6時30分から「中郷区総合事務所」で行うこととする。

(終了 午後8時00分)

9 問合せ先

中郷区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL : 0255-74-2411 (内線 165)

E-mail : nakago-soumu.g@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。